羽村市立松林小学校　学校だより

松林

No.10

令和８年　９月２４日
校長　古瀬　義房

～自分でできる　一緒にやれる～

「学校美術館」と「言葉の力」

校長　古瀬　義房

本校には、「学校美術館」という全国的にも珍しい教育活動があります。



宮下さんをお招きし、作品への想いを話していただきました

これは、PTA と学校とが協働して、年に１回、地域にゆかりのある芸術家さんの作品をお借りし、職員玄関入ってすぐの所にある「ギャラリー」に展示するという取組です。

もう３０年近く続いているというのですから驚きですね。かつて本校に勤務されていた図工教諭の原田丕（はじめ）先生と当時の PTA の皆様で企画し、始まったそうです。

今年も「アートインはむら」（「プリモホールゆとろぎ」で行われる、地域最大級の美術展のことです。毎年４年生が鑑賞に行っています。）参加作品の中から選定された宮下泉さんの作品を展示し、子供たちは毎日の学校生活の中で自然に本物の芸術作品と出会っています。

一般に美術館は、「作品を見に行く場所」です。しかし、学校美術館は少し意味が異なります。学校生活そのものの中に芸術が存在し、子供たちが特別な意識をしなくても作品と向き合える環境があります。教室移動の途中、休み時間に友達と歩いているとき、あるいは清掃の時間など、ふと作品の前で足を止める子供の姿が見られます。その何気ない出会いの積み重ねこそが、学校美術館の大きな価値なのです。

学校美術館の役割は、美術を学ぶことだけではありません。作品との対話・子供たちが感じ、発する言葉を通して「感じる力」「考える力」「表現する力」を育てることにあります。さらに、「自分とは違う見方もあるのだ」と気付く経験は、多様性を尊重し、相手を理解しようとする姿勢にもつながります。こうした学びは、これからの社会を生きる子供たちにとって大切な資質・能力です。

松林小学校では、これらの資質・能力を「はむらの学校教育」にもある子供たちの「言葉の力」として捉え、育成のために、校内研究※１にて、「対話型鑑賞」※２というメソッドを用いて教育実践を繰り返しています。生活時程にある「わくわくアート」という時間もこの活動です。

「対話型鑑賞」では、教師が作品を説明するのではなく、

「何が見えますか。」
「そう思ったのはどういうことからですか。」
「他に気付いたことはありますか。」

という問いを通して、一人一人の見方や感じ方を尊重しながら学びを深めています。

これにより、「自分とは異なる見方に気付く」「根拠をもって話す」「他者の考えを受け止める」ことが期待できます。

松林小学校では、この「対話型鑑賞」を図画工作だけでなく、国語や社会科さらには日々の学校生活そのものと結び付けながら教育活動を進めています。作品や資料を見て言葉を紡ぎ、自分の考えを表現し、友達と語り合う経験を重ねることで、子供たちは「学ぶ楽しさ」と「感じる喜び」を少しずつ育んでいます。

研究を進めるにあたっては、本校非常勤教員の大杉健（たけし）先生に指導・助言を頂いています。大杉先生は、東京都公立小学校での豊富な指導経験に加え、大学での指導や、美術館との連携を通して鑑賞教育の普及に尽力・活躍されている先生です。専門的な知見をもつ大杉先生の指導理念や方法を全教員で学んでいます。



大杉先生と「対話型鑑賞」を行う３年生



学校美術館や対話型鑑賞は、ただ作品を展示する場所・機会ではなく、子供たちの心を育てる学びの場です。

本物の芸術との出会い、人との対話、地域とのつながりを大切にしながら、一人一人の豊かな感性と創造力を育む教育を、これからも松林小学校らしく積み重ねてまいります。

保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動への御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※１　校内研究とは…日常の教育活動の中から生まれた課題を教育実践を通して解決していく活動です。「課題に対してどのような成果が得られたか」「子供がどのように変わったか」など、成果や課題を明らかにし、本校の教育活動の質的向上を図っています。

※２　対話型鑑賞の歴史…１９８０年代に、美術館での鑑賞教育としてアメリカで始まった VTS（Visual Thinking Strategies）は、対話型鑑賞プログラムの原点として様々な技法に枝分かれしながら発展してきました。今では、日本の学校現場で授業や朝の活動などに組み込まれ、日々の学習文化として根付く形に再構成されています。

～9月の学校の様子～

【食育出前授業】9月15日（火）



1・2年生を対象に羽村第三中学校から栄養教諭の平野先生をお招きして、食育授業を行いました。今回のテーマは「よく噛んで食べよう」です。食べ物をしっかり噛むことで消化を助けるだけでなく、あごの発達や虫歯予防にもつながることを教わりました。授業の後半では、学んだ内容を確認するために「かるた取り」を行いました。よく噛むことに関する合言葉が書かれた札を取りながら、楽しみつつ理解を深める様子が見られました。子供たちからは「もっとやりたい」「よく噛むって大事なんだね」といった声も聞かれました。よく噛んで食べる習慣は、健康な体づくりの基本です。御家庭でも、食事の際に「よく噛もう」と声を掛けていただけますと幸いです。

【リコーダー鑑賞会】9月17日（木）



3・4・5・6年生の音楽の授業で、「小作ばれいしょ」の皆さんをお招きしてリコーダー鑑賞会を行いました。子供たち馴染みのある「ピタゴラスイッチ」のテーマ曲や「コンドルは飛んでいく」を演奏してくださいました。大きさや音域が様々なリコーダーを使っての演奏に、子供たちは興味深く聴き入っていました。演奏会の後は、リコーダーの指導もしていただきました。低い音や高い音の出し方や息遣いなどを、個別に丁寧に指導していただき、子供たちも集中して練習に励みました。

【英語乗り入れ授業】9月18日（金）

羽村第二中学校から熊切先生と菅原先生ををお招きし、乗り入れ授業を行いました。今回学んだのは、物の位置を表す英語表現です。「in」「on」「under」など、ボールを使いながら、位置関係を英語で伝える練習をしました。中学校の先生方は、身振り手振りを交えながら、児童にとって分かりやすく教えてくれました。実際に体を動かしたり、物を指し示したりすることで、言葉の意味を体感的に理解することができました。今回の授業は、小学校と中学校の学びがつながる貴重な機会となりました。



羽村市動物公園（ヒノトントン ZOO）で誕生したレッサーパンダの赤ちゃんの名前が「きのこ」に決定しました。児童から名前の候補を募集した後、市民や利用者の方々の投票をもって決定されました。元気にすくすく育つよう見守っていきたいと思います。

ニコニコラム

生活指導主任　桐生 砂千夏
特別支援教育コーディネーター　大根 佳奈

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。子供たち一人一人が安心して2学期のスタートを切れるよう、全教職員で丁寧に指導、支援してまいります。

9月の生活目標

【生活】気持ちのよいあいさつをしよう。
【安全】学校外での安全な生活。



2学期がスタートしました。交通ルールを守り、時間に余裕をもって登校できるようにしましょう。
9 月21日（月）～30日（水）まで秋の交通安全運動となっています。御家庭でもぜひお声掛けください。

9月は秋の全国交通安全運動期間です

学校では、「通学路の安全な通学の仕方」「道路を横断する際の危険および安全な歩行の仕方」について指導をしています。

以下のチェックリストを活用して安全な通学の仕方について、御家庭でも話題にしてみて下さい。

□車が来ていないか、右、左、右をチェック！
□横断歩道を渡る前に車が止まったかチェック！
□横断中も左右から車が来ないかチェック！

※横断歩道を渡る前に、「今から渡ります！」と分かるようなアクションをすることも効果的です。

夏休み明けの不安をやわらげる～見守りサポートのヒント～

長い夏休みが明け、子供達は学校生活のペースを取り戻そうと日々頑張っています。生活リズムの変化や集団生活の再開に、少しずつ心や体に疲労が溜まってくるころかもしれません。今回は、子供達が安心して過ごすためのヒントをお届けします。

≪「大丈夫？」より「今日も一日おつかれさま！」≫

夏休み明けは子供達も知らず知らずのうちに疲れをため込んでいます。帰宅後の様子の変化に「大丈夫かな？」と心配になることもあるかと思います。そんな時は、無事に帰宅したことを労い、「おつかれさま！」と温かく迎えてあげてください。家庭が「一番リラックスできる安全基地」であることが、明日のエネルギーになります。

≪登校前の「寄り添い」と「選択肢」≫

お子さんから「学校に行きたくない」「お腹が痛い」などの SOS が出た時は、まず「そっか、今はそんな気持ちなんだね」とそのままの気持ちを受け止めてあげてください。その上で「連絡帳だけ出しに行ってみる？」「保健室に行ってみる？」など、「行く・行かない」以外の小さな選択肢を一緒に考えてみるのも良いかもしれません。自分で選べた経験が安心感に繋がることがあります。

≪家庭だけで抱え込まず学校をパートナーに≫

「朝起きるのが辛そう」「宿題にいつも以上に時間がかかる」など、どんな小さな変化でも構いません。学校とご家庭で子供の様子を共有し合うことで、一人一人に合ったサポートのヒントが見つかります。担任をはじめ、特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーなど、遠慮なく頼って頂けたら嬉しいです。一緒に子供達の成長を支えていきましょう。

ご家庭で気になることがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。夏休み明けの不安を一緒に乗り越えていきましょう！！